

新・東の風

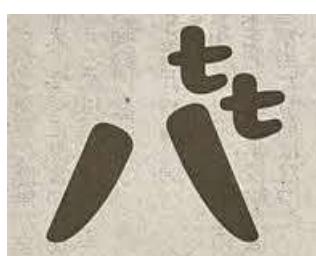
令和4年度
1月号

令和4年度2学期も今日で終了となります。皆さん、どうでしたか？

2学期の学校行事はコロナ禍ではありましたが、何とか実施できました。舞台発表での文化祭、2年生職場体験、1、2年生校外学習と。

しかし、12日（月）からの週は1、2年生の多くがインフルエンザにかかってしまい、余儀なく学年休業となりました。リモート授業なので工夫はしましたが十分とは言えません。3学期早々チャレンジテストが控えていますので、各自が明日からの冬休みの時間を有効に使うことをお願いします。

さて、その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が12月12日（月）、京都・清水寺で発表され、今年は『戦』に決まりました。ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年で、円安・物価高による生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」・挑「戦」も注目された、としています。君たちも何らかの「戦」はあつたことでしょう、また、今も続いているかもしれません。ちなみに昨年は東京オリンピック・パラリンピック大会で日本人選手が多数活躍したことから「金」でした。



先日、漢字に関しての面白い記事を見つけました。創作漢字コンテストというのがあり、今年の最優秀賞が発表されました。左の2文字です。何と読むかわかりますか。

左側が「はかまいり」、右側が「バナナ」。このコンテストは毎年行われており、社会人・大学生・高校生・小中学生から作品を募り、この2点が選ばれました。この作品を考えたのは、

「はかまいり」が中学3年生、「バナナ」が小学2年生です。墓参りに行った際に祖先が眠っていると感じ、尊敬の念を抱いたそうです。また、キッチンにあったバナナを見て、「ナナ」と「七」が一緒で面白そうと思い感じたそうです。カタカナを一文字の漢字にするとは見事です。

普段の学習も当然大事ですが、こういった発想力があると、また違った世界が見えてくるのでしょうか。小中学生が大人たちを退け、最優秀賞をとったことが個人的には大変うれしく思いました。君たちも、新しい年を迎えるにあたり、自分自身の夢の獲得に向け、挑「戦」してください。